



## ARCHTECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その55

各務原市にある、「瞑想の森」と名付けられた斎場です。伊東豊雄の設計により、2006年に完成しました。ふわりと舞い降りた布のような屋根がガラスで持ち上げられたような形態は、郊外の緑多い風景に溶け込んでいます。機能上、美しいという言葉は使いにくいのですが、内部の静かな設えと共に、訪れた人の心を鎮める…そんな力を持った建築だと思えます。

## CURRENTLY WORKS



### 調剤薬局のコロナ対応 半個室待合

収束の見えないコロナ禍に対応するため、調剤薬局の待合でも、一定の距離を取ってもらう必要があります。ここでは、全面的な改修を見据えたマスタープランを作り、その第一期工事として、半個室の待合スペースを2ブース設置しました。将来計画につながるイエローのダブルピラーを空間のアクセントとし、この先、全体が生まれ変わる布石としました。

## PRIVATE TOPICS



### 関山の地元探訪記 その12

「名古屋国際会議場」に設置の「スフォルツァ騎馬像」を見てきました。1493年にレオナルド・ダ・ヴィンチに製作が依頼されましたが、戦争のために未完となり「幻の騎馬像」と言われていました。1989年に開催の「世界デザイン博覧会」の際に再建を試みたものの、ブロンズでは自重を支え切れないため、FRPになっています。高さ8.3m…とにかくでかい！

## EDITIONAL NOTE

2月11日は「建国記念の日」です。これは、初代天皇の神武天皇の即位の日、紀元前660年1月1日を新暦に移して決まりました。とはいえ、明治時代には1月29日であり、「紀元節」と呼ばれていました。第二次世界大戦後、GHQの「神道排除」から消滅し、1966年になって、国民の休日として復活しました。

編集担当：太田・藤原